

中央大学学員会 第32号 49年白門会会報

発行日 平成28年6月11日 (年2回発行)
発行人 山崎 厚太
発行所 中央大学学員会49年白門会
印刷所 (有)東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階 サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。



(題字・葛西聖司)

コウレイ者

49年白門会副会長 山崎 司平



私は大学には一浪して入りましただけで、昨年から「年寄り扱い」をされることになりました。この5年前つまり還暦を迎えたときは、長女の企画で家族全員が温泉に行き祝宴を囲みました。旅館も手慣れたもので、食事が進んだところで、赤いチャン

チャンコと帽子を運んできました。これを使って記念撮影をしたためか暫くは「私は年寄りなんだ」と思わされていきました。そのうち、「何時までもジジむさひ思いはしてられない」と気を取り直すこととして、「老人扱われ症候群」から脱却することに成功しました。

私が所属している銀座ライオンズクラブに見えた医師のゲストスピーカーは、65歳から高齢者として扱われるのは世界基準だと話されていました。高齢者になったと言われた年は、還暦での経験が活かされたためか(？)、

年寄り扱いされること、ないしは年寄りと思うことから、早めに離れることが出来ました。

私が意識したのは、コウレイ者と言われて、高齢者という文字をイメージすることを止めて、得意なオヤジギャグでプラスイメーじを持つようにしたのです。

いつも元気な好例者

頭の中で、高齢とは別のコウレイ

を考えてみました。最初に思いついたのは、「好例」でした。人生の先輩として「好例」者と言われるようになるのは、とても素敵なことだと思います。社会生活での活躍の面でも、健康の維持の仕方でも、徐々に適な時間の過ごし方でも、「あの人のようになりたい」と思われるのは、それなりに努力を要することだと思います。私は、若々しさにおいて、好例者になろうと思っています。

次に浮かんだのは「恒例」でした。「毎度のこと」と言われるのも、健康を維持していることが前提のように思います。例えば、49会で楽しく

飲むのが「恒例」であるためには、下手なゴルフを仲間と楽しむためには、他人の迷惑を顧みずにカラオケでガナルのが「恒例」であるためには、自分なりに健康を維持することが大切だと思います。

私は、「司平さん、いつも元気だね」と言われることが多いのが自慢の一つですが、元気が恒例ならば、人生の好例者と鼻を高くすることも許されるでしょう。

この原稿を書くために「コウレイ」をPCで変換してみました。すると、高齢・恒例・好例・降霊・交霊・孝霊と出てきました。自分や配偶者の両親と境涯を異にする年代になっているのも現実ですから、時には静かに「霊」と語り合うことも、必要かも知れませんね。

ああ、昭和記念公園も井の頭動物園も、65歳を過ぎると入園料が一般の半額位になります。儲かった気がします。「孫ちゃんを公共施設に連れて行け」という「お上の声」にも素直に従う好例者になりましょうかね。

友への メッセージ

人生の節目を迎えて

只縄 治幸(法)

千葉県 四街道市

「65歳」大部分の49年白門会の仲間もそうだと思いますが、私も今年12月に65歳となります。人生の節目には入学、卒業、成人式、就職、結婚、還暦と、人それぞれにあると思います。あまり聴き慣れない言葉ですが65歳は緑寿(ろくじゆ)というそうです。『緑寿は他の長寿の祝いとは異なり、2002年9月に日本百貨店協会が提唱し、数え年の66歳は齢世代に区分されるが介護も必要なく、現役世代と高齢世代の節目となる年齢で、新たな社会活動への参画を促すスタートラインに位置づけられることから「緑」をイメージし、66歳なので「緑緑寿」となることを簡潔にした』といっていました。

今年6月、42年間のサラリーマン生活を引退し新たなスタートラインに立ちます(自宅での年金生活ですが)。サラリーマン生活を振り返ればいろいろな思い出はありましたが私の心身をきかせていたのは佐倉高校、中央大学の7年間のレスリング競技生活であったと思います。私がレスリング競技に出会ったのは高校入学してからでした。今では

多くの選手が幼少から競技を始めていますが、当時は高校から始める選手が大部分でした。高校に入学してレスリング部があることを知ったのは、どの学校にもある部活動説明会でした。いまでは女子レスリングが注目されておりますが、それまではレスリング競技というオリオンピックで見たという程度でしたが、こんな身近にあるスポーツだとは思いませんでした。当時の私は50kgこそこの体重で、だれが見てもレスリング競技をやっている体に見えませんでした



昭和46年頃の富坂道場(理工学部内)。中央の前かがみが筆者

が(中学は柔道部で格技は好きでした)それがなせレスリングの名門中央大学でレスリング競技を続けることになったかというところ、レスリング競技が体重による階級別のスポーツであったからでした。現在は57kg級が最下位の階級ですが、私が高校2年時に48kg級が新設され、千葉県高校新人戦でこの階級でレス

リング競技で初めて優勝ということを経験しました。その後私がレスリング競技を行っていく上でこの階級がプラスになったことはいうまでもありません。しかし、大学2年頃から体重が60kg近くになり、減量がむずかしく、試合でよい結果があまり残せなくなりました。

また、高校3年時には新任教師として中央大学レスリング部出身の渡辺先輩が高校に赴任されたということも中央大学でレスリング競技を続けるよつとよつきかけになりました。節目という今年、中央大学体育連盟レスリング部が創立70周年を迎えます。11月には記念式典の開催を予定しています。レスリング部は戦後まもなく創部され、大学レスリング界の中心的存在として、特に、オリオンピックにおいては5名の金メダリストを輩出しておりますが、作今

は体育系大学等の台頭が著しく、個人のみならず学生のメイン大会である関東学生リーグ戦においても私たちが大学3年時の優勝以来、45年近く優勝がありません。今ではホームカミングデーでの練習公開や、納会、歓送迎会等で現役学生を励ますことしか出来ませんが、OBとして中央大学レスリング部の今後の奮闘を望んでいるところです。

楽 苦 我 喜

宮川 保(経)

東京都 渋谷区

漫研女子の今昔

草食系男子という言葉が世に出てきて10年ほどか。近頃は受け身男子というのもあると聞く。中大在職中、先輩の後任として漫画研究会の顧問を引き受けたのが1989年のこと。退職するにあたって監督に就任、年4回のコンパに出席するほか、幹部との食事会を開いているが、男子が草食すぎるかはさておき、女子の進出は実感する。今を去ること46年前(ほぼ半世紀)、中大経済学部に入學。第二

外国語に中国語を選択してクラス分けされたのだが、我がクラスの女子は二人だけ。フランス語を選べば違ったかもしれないが、いずれにしろキャンパスで女子を見かけることは少なかった。今日、中大経済学部全学年女子率は29%、商学部で35%、法学部で36%、総合政策学部で46%、理工学部は19%だが、文学部は55%と過半数を占める。

漫研の男女比も例外ではない。年々、女子部員の比率が高まっている。それだけでなく、幹部に女子が就くケースが増えてきた。漫研の主たる幹部はサークルを統括する「部長」、コンパや合宿の準備など対外活動の責任者である「渉外」、会誌制作など漫画の実務を司る「編集」の三役。一昔前は三役は概ね男子が務め、女子はサポートに回っていた。いつの頃からか、編集は女子が担当するようになり、さらにここ数年は女子が部長、渉外を普通に務めている。男子が少ないからではなく、積極的に役目を買って出ているのである。

部員たちと交す話は漫画やアニメや他愛ないものが多いが、進路の相談など真剣に聞かねばならない話題を持ち出されることもある。この手の話は、大体が男子の部員から。女子は他に相談相手がたくさんいるのだろう。

今後、学生たちの良き話し相手、相談相手となっていきたい。

ふるさと自慢 あじ自慢

今回の自慢は東京都在住
て和歌山県出身の杉本さ
ん。NHK大河ドラマの「真
田丸」や朝ドラ「あさが来
た」で話題の和歌山の名産
といえば!!
7月の総会の懇親会にて
プレゼントされます。

和歌山県
海南市
杉本 和久(法)



人気スポット 九度山町の真田庵

私のふるさと和歌山県海南市は県の北部、大阪への通勤圏内にあり和歌山市のすぐ隣に位置しています。海南市黒江は昔から漆器の町として栄え、東京日本橋「黒江屋」のルーツです。
さて、本題のあじ自慢に入ります。海南市で自慢できる特産品は限られますので、今回は和歌山県全域を対象に紹介します。

次に高野山の「ごま豆腐」は精進料理に欠かせない伝統的な食品です。味の好みは分かれますが、根強いファンもいます。
和歌山と言えば、紀伊国屋文左衛門の時代から有名な紀州みかんです。朝ドラ「あさが来た」の舞台になった有田(ありだ)のみかんは、今でも一級品で、全国に知られています。「まるとと温州みかん」は文字通りみかんをまるごとシロップ漬けしたものでデザートに最適です。更に有名なのは、南部町を中心に生産されている紀州南高梅の「梅十」です。品質はもちろん、みかんと並んで生産量でも全国一で不動の地位を占めています。
ラーメン通に人気なのが、「和歌山ラーメン」です。しょうゆ豚骨味で、いつも行列の出来る井出商店(和歌山市)が、地元で良く知られています。
総会では、以上の特産品等を持参いたします。ご期待下さい。

2016年 総会のお知らせ



「49年白門会」の2016年総会が開かれます。今回は同期で医学ジャーナリストの松井宏夫さんの「65歳を過ぎての健康」と題しての講演もあります。
多くの人が定年を迎え、しがらみも肩書も無い皆様の楽しいサロンとも言つべき「49年白門会」になります。すよう是非ご出席お願いします。
懇親会は12時半のランチタイムになっております。
日時・平成28年7月2日(土)
12時(11時半より受付)
場所・お茶の水ホテルジュラク 孔雀の間
(東京都千代田区神田淡路町2-9)
懇親会・12時半〜3時 孔雀の間
会費は8千円です。

1周年目前の「将棋同好会」黒澤義己(法)

昨年9月から少人数で始まった将棋同好会。第3回が4月18日(土)午後1時から6時まで中大駿河台記念館でありました。初参加の杉本さんを加えての6名で対局を行いました。6時に終わり近くの居酒屋で将棋談義にお酒もすすみました。
次回は7月を予定しております。開催が決まりましたらHPでお知らせいたします。

将棋同好会の発足1周年を前にして、本同好会の認知度を上げたく、以下にご案内をさせていただきます。

- (1) 名称: 49年白門会将棋同好会
- (2) 会員数: 9名(4月27日現在)
- (3) 代表者: 黒澤義己
- (4) 会場: 中大駿河台記念館図書室
- (5) 例会開催時期: 4月、7月、10月、1月(年4回)

土曜日の午後1時〜6時

*例会では、参加者同士の1対1の対局を行います。今後は参加人数に応じて、リレー将棋、チェス、象棋(中国将棋)等の企画も考えます。
(6) 費用: 初回参加時のみ1千円。2回目以降、無料。

第14回49年白門ゴルフ会 2016年 4月8日(金)

前日は会場の埼玉県飯能市辺りも激しい風雨でさぞかし桜も散ってしまったかと思いましたが、飯能パークカントリークラブの桜は満開で、我々16名を迎えにくれました。
4組16名のコンペが9時半からスタート。何処のホールも桜が満開。周りの山々も鮮やかな芽吹き緑の塊があり、正に「山笑う」春本番。花見気分の人もいれば、連覇をひそかに狙っている人、雪辱を期する人と16人16様のプレイスタイル。
80台が3人と高レベルの優勝争いでしたが、100を切った人は4人で110〜130が5人とこの会らしいスコア。優勝は甲田隆夫さん(経)。

このゴルフ場はパット下手には大変難しいグリーンです。朝のテレビでマスターズゴルフ中継をやっていた



最多の参加者!! 新年会

2016年
1月30日(土)

1月最後の土曜日、49年白門会の新年会が御茶ノ水の中大記念館1階「レストラン プリオール」で12時から開かれました。

今回は58名というこれまで最多の会員が集まりました。初参加の方が7名、女性も2名。山崎会長の「参加者の人数が年を追うごとに増えており、今回は60名(2名欠席)になりました。益友楽しい会にしていきたいと思います」という挨拶があり、大竹副会長の「今年はずいぶんですので、悔いなんか残すモンキー」という駄洒落の乾杯の意頭で懇親会がスタート。

司会は千葉事業部長。初参加の方々の自己紹介もあり、42年振りに再会したことに年月の流れに改めて驚いたという挨拶もありました。ランチタイムからのスタートです。皆さんの食欲も旺盛。追加でカレーライスとスパゲッティが加わりお腹の方も満腹状態。

1時過ぎから恒例のプレゼントの



抽選会が始まりました。今回は「徳島県鳴門市名産品」をプレゼント。高橋カメラマンの出身地・鳴門から高橋さんが選んだワカメ、レンコン茶、金時芋、醤油、お酒、焼酎、ぐい飲みなど鳴門市ならではの名産品が並びました。受付時に配った抽選

編集 後記

みんな 前期高齢者 だって!

還暦を過ぎてはや5年、49会の多くの仲間が今年65歳になる。65歳と云えば、前期高齢者と呼ばれる括りに入れられる。役所からは無駄とも思われる高齢者向け資料がしばしば届くようになる。

先日、日経新聞の2面に、あるベテラン政治家が厚生労働大臣に一読するようと文庫本を贈ったとの記事を目にした。題名は「プラチナタ

●2016年度会費納入のお願い

49年白門会は皆様の会費によって運営されております。2016年度の会費を7月31日までに納めてくださるようお願いいたします。

ある年度の納入を失念されていらっしゃる方も、今年度分から会費を納入していただけますと助かります。

2016年度の活動期間は2016年4月1日～2017年3月31日です。

年会費3,000円、入会金1,000円です。納入方法は下のいずれかをお選びください。

①郵便振替 (同封の赤い枠の用紙を使えば手数料は49会が負担します)

振替口座番号 「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)

銀行名 三菱東京UFJ銀行 調布支店 普通預金「1979382」

口座名 49年白門会 渡邊秀和

(ヨンジュウキウウネンハクモンカイ ワタナベ ヒデカス)

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会事務局長 益田 耕二

105-0013 東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階

サザンフラックス労務室

Tel 03-5401-7545 Fax 03-5401-0898

※メールアドレスの登録・変更は hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

券を安全さんが引いて行き次々と当選者が決まって行きます。高橋さんのユニークな賞品説明と進行で楽しい時間が過ぎました。

約2時間の懇親でしたが最後は恒例の「中大節」。落研出身の石川さんと根本さんのリードで58人が会場を

練り歩きました。締めは他の新年会を中座して駆けつけてくれた山崎司平副会長の万歳三唱で無事お開き。帰りには「ワカメ・金時芋」「レンコン茶・金時芋」の入った袋が用意され、どちらかが参加者全員にプレゼントされました。(広報部)

事業部掲示板

2016年度の行事予定です。時間や集場所等詳細は未定です。実働が決まりましたらホームページやメールでお知らせいたします。

◎総会・懇親会

7月2日(土)

*同封された案内状をお読みください。

◎ビアパーティー

8月6日(土)

お茶の水ホテルジュエルク「あけびの美」

◎ホームカミングデー

10月23日(日)

◎日銀貨幣博物館見学

11月26日(土)

◎新年会

平成29年1月28日(土)

「中央大学駿河台記念館」

原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「あの頃に戻れたら」というテーマで原稿を募集いたします。

人生で一番輝いていた時代、夢があった時代、あの頃に戻ったらやりたかった時代、今思い出されるあの時を500字前後で事務局まで送っていただけ。締め切りは10月末日です。

広報部からメールで依頼することもありますのでその際はご協力お願いいたします。